

大屋中だより

令和2年度
第1号
令和2年
4月14日

教職員・生徒共通実践目標

時を守り

場を清め

礼を正す

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた四月七日発令の「緊急事態宣言」を受けて、本市でも「養父市非常事態宣言」が出されましたが、地域のみなさまにおかれましては、いかががお過ごしでしょうか。

始業式、そして入学式

四月七日(火)、一学期の始業式。生徒と

ともに令和二年度をスタートさせました。新二・三年生の表情には、キリっとした緊張感が見られ、体育館全体が新年度らしい清新な雰囲気になりました。節目の日というものは、やはり清々しく気持ちのよいものです。校庭の桜も、入学式を待っていてくれるかのように、しっかりと花をつけてくれていました。ありがたいことです。



<間隔をとって整列する生徒>

四月八日(水)、令和二年度入学式。新入生二十二人がしっかりとした足取りで入場してくれました。その様子を見て、この大屋中学校がまた大きく豊かに膨らんでいくような気がして、うれしさと期待で胸が熱くなりました。全校生六十人八人が一堂に会した瞬間の感動でした。ただ、当日は、新型コロナウイルス感染症対策のため、二・三年生については、新入生と同じフロアではなく、ギャラリーにて参加し、例年とは異なる位置から新入生を歓迎しました。二・三年生のこの位置により、「歓迎の言葉」の中の合唱「この星に生まれて」の歌声が天井から響き渡る効果を生み出し、例年の入学式



<入学式会場の様子>



<ギャラリーの2・3年生>

入学式後、一年生教室において、翌日の四月九日(木)から五月六日(水)まで臨時休業になることについて説明を行いました。「さあ、新学期をみんなで、これから!」という矢先の措置に戸惑いながらも、感染拡大を防ぐため、「みんなの命を守る」ため、一人ひとりが自覚をもって、適切に生活していくことを呼びかけました。臨時休業期間とはいえ、週二日、火・金曜日に登校日を設け、生徒の健康観察や状況把握、課題のやり取りなどを行います。午前中のみの活動で、給食なし、十二時台のバスで下校します。但し、こうした措置についても、状況によっては変更になることを想定しておかなくてはなりません。一日も早く通常の学校生活に戻れることを願うばかりです。



<誓いの言葉を述べる
池田怜大君>



<歓迎の言葉を述べる
小倉優菜さん>

にはない印象的な場面になりました。

3月末に5人の先生方をお見送りし、
4月1日には、7人の先生方をお迎えしました。

退職・転出		転入	
谷垣 真也 先生 (音楽)	ご退職	坂本 裕実子 先生 (音楽)	新採用
垣尾 正幸 教頭先生	関宮学園へ	山下 雅史 教頭先生	大屋小学校から
小橋 やよい 先生 (国語)	八鹿青溪中学校へ	長野 恵子 先生 (国語)	八鹿青溪中学校から
小柴 美穂 先生 (社会)	関宮学園へ	福岡 麻衣 先生 (社会)	関宮学園から
西垣 喬志 先生 (数学)	八鹿青溪中学校へ	上田 峻矢 先生 (数学)	八鹿青溪中学校から
お世話になりました		秋山 多喜男 先生	大屋小学校から
		崎尾 豊武 先生	八鹿小学校から



学校行事等の
今後について

この度の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一環として、県の事業をはじめ、当初予定をしていた諸行事について、延期や中止を余儀なくされていきます。下記の一覧は現在の状況をまとめたものですが、あくまでも本日現在の状況であり、今後変更の可能性もあります。

修学旅行はもちろんのこと、生徒たちが楽しみにしている行事や、力を発揮する場として大会等の実施になる

事業名		対象	当初予定	変更内容
県事業	トライやる・ウィーク	2年生	5/25(月)～5/29(金)	→ 延期
県事業	わくわくオーケストラ教室	1年生	6/12(金)	→ 延期
学校行事	ミズパショウ公園・かいこの里探訪	1年生	4月下旬	→ 中止
学校行事	修学旅行	3年生	5/27(水)～5/29日(金)	→ 9/16(水)～9/18(金)
部活動	春季大会(オープン戦)	全種目	4月中の土・日など	→ 中止

<4月の予定> 4/14現在

4/7(火)	離・着任式、1学期始業式
4/8(水)	令和2年度入学式
4/9(木)	臨時休業 (5月6日まで)
4/10(金)	登校日(午前中) *給食なし
4/14(火)	登校日(午前中) *給食なし
4/17(金)	登校日(午前中) *給食なし
4/21(火)	登校日(午前中) *給食なし
4/24(金)	登校日(午前中) *給食なし
4/28(火)	登校日(午前中) *給食なし
5/1(金)	登校日(午前中) *給食なし

変更の場合あり

かなか見通しが持てない状況です。本校の今年度の部活動も、新入生の募集に取りかかることもできていません。

いつもと異なる春に戸惑うことが多いですが、しっかりと情報収集しながら、立ち現れる事態に柔軟に、しかも迅速に対応していかうと教職員一同、気を引き締めているところです。